

# 朝鮮大学校 VS 東海大学

10月27日(日)  
11:30K.O.  
古河

得点差で10位に後退してしまった朝鮮大と、降格が決まってしまう東海大との対戦。ここ数年、残留争いに苦しむ朝鮮大は勝点を奪えるか。

その朝鮮大は前節、首位の東国大と対戦し、0-5と大敗してしまった。これで、上位2チームと対戦したここ2試合は無得点での連敗となった。東国大との試合は、立ち上がりこそ朝鮮大が積極的な攻め上がりを見せたが、東国大の守備ラインを突破することができず、徐々に東国大ペースにはまり、前半だけで3点を献上した。特に、ゴールキックを奪われ失点した24分の先制点と、26分の連続失点が痛かった。後半も立ち上がりは反撃の姿勢を見せたものの、東国大の冷静な守備を崩せず、逆に2点の追加を許した。これには金載東監督も「完敗という感じ。自分たちでやり切れていない部分がある、この試合でも出てしまった」と反省の弁ばかりだった。残留争いはここからが本番。切り替えて臨みたい。

対する東海大は前節、東農大に0-3で敗退。早い時間のチャンスを確実に決められたかどうか、そのまま勝敗の結果となった。そして、翌日に10位の平国大が引き分けたことで11位以下が決定し、来季の神奈川県リーグへの降格が決まってしまった。スタッフの入れ替

えで新たなスタートを切った今季だったが、不祥事もあり残念な結果となった。しかし、後半戦の戦い方もがむしゃらに残留を目指すという訳ではなく、むしろ若い選手も多く起用し、自分たちで組み立て積極的な攻撃を仕掛けるなど内容にこだわっている。既に復帰へのチームづくりのスタートとも考えられるだけに、残り試合の内容も充実させ、後期初勝利につなげたい。

<出場停止>なし / 3回警告: 康貴成(朝鮮大)  
<前回の対戦>朝鮮大4-1東海大

朝鮮大	東海大
2. 李永照	35. 岩壁
24. 鄭壯輝	13. 森田
4. 許亮	3. 小山
16. 韓勇俊	24. 羽毛
6. 任良太	12. 佐藤
1. 李在根	19. 永吉
	29. 内山
21. 康貴成	9. 桑原
3. 李教俊	11. 金大伸
17. 高志煌	2. 太田代
23. 安泰永	7. 水橋
	26. 小野

# 東京国際大学 VS 東京農業大学

10月27日(日)  
13:50K.O.  
古河

盤石の態勢で首位を走る東国大と、連敗を止めた5位・東農大との対戦。開幕から10試合負けのなかった東国大に初黒星をつけたのが東農大だけに、東国大は雪辱を期してくるだろう。

その東国大は前節、今季2度目の雨天延期をものともせず、朝鮮大に5-0で大勝した。立ち上がりは相手の出方を見極め、徐々に攻撃の牙をむく余裕の試合運びで前半3得点、後半2得点。1試合5得点は今季初だけに、前田秀樹監督は「サッカーで5点も取れることはそんなにない。2トップの2人が機能してくれた。そして失点0で抑えて、最高の出来」と褒めた。前半戦序盤の不安定な状況を克服し、ここ数試合は得点力と守備の安定性がしっかりと戻ってきており、関東リーグ昇格1年目での1部昇格が現実味を増してきた。ここから残り5試合は上位との対戦だけに、まずは今節のゲームが重要。前回の敗戦を踏まえ、速攻への対策が必要だ。

対する東農大は前節、東海大に3-0で快勝し、連敗を2で止めた。今節、次節が上位2チームとの対戦だけに、上位チームの連勝をストップさせて少しでも追い上げを図りたい。東海大戦は、30分、32分と連続得点できたのが大きかった。その2点の起点となり、また後半

にダメ押しとなる3点目を決めたMF石川乾悟(2年)の活躍が目立った。最高で3位につけた東農大だが、今季は関東復帰1年目だけに、秋吉保浩監督は「相手の攻撃にしっかり対処し、守備から入れたのがよかった。残留は見えて気持ちは楽になれたと思う」と話す。首位チームに対し、伸び伸びと力を発揮することができるか。

<出場停止>なし / 3回警告: 村山翔・櫻岡徹也・加藤聖哉・佐々木翼(東農大)  
<前回の対戦>東国大1-2東農大

東国大	東農大
22. 新地	12. 徳田
17. 小玉	18. 今野
5. 川島	9. 福島
10. 若井	3. 田村
21. 今野	6. 中垣内
13. 佐伯	14. 石川
3. 阿部	8. 佐々木
4. 加藤	10. 浜田
11. 高橋	5. 櫻岡
2. 伊東	11. 井上
	27. 加藤

\* 予想布陣は直近の試合を参考に作成しています \*

# JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦

**if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM**  
Division2 2013-NO.18  
編集: 五味亜矢子 発行: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ



## 東国大が大勝! 東海大は降格決定

JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 2 部リーグは、第 17 節の 2 試合が雨天のため延期となり、22 日(火)に行われた。各試合の結果は、東国大が朝鮮大に 5-0 と大勝し、駒大は神大に 1-0 で勝利。3 位の関学大は拓大と 2-2 で引き分け、またも上位 2 チームが 3 位以下との差を広げた。そして、4 位の青学大が法大との乱戦を 5-3 で制して 3 位に浮上。東農大は東海大を 3-0 で下して連敗ストップ、東学大は平国大と 2-2 で引き分けた。土曜日に敗れた東海大は、日曜日に 10 位の平国大が勝点 1 を獲得した時点で、来季の県リーグ降格が決定した。

リーグ戦は残り 5 節となり、昇格・残留争いもヒートアップしているが、昇格争いは上位 2 チーム 3 位以下との勝点差が 8 と開き、早ければ次節にも決定する可能性が出てきた。一方、残留争いは 9~11 位のチームが団子状態となっており、今後の行方が気になる。残り少ないリーグ戦、波乱が起こるかどうか注目!

得点ランキング	アシストランキング
11: 小牟田洋佑(駒大)	7: 佐伯 拓磨(東国大)
伊東 純也(神大)	碓井 鉄平(駒大)
9: 関谷 祐(青学大)	5: 田中 雄一(駒大)
富樫 敬真(関学大)	恵 龍太郎(青学大)
8: 加藤 龍治(東国大)	今野 順(東農大)
山本 大貴(駒大)	松田 有平(法大)
7: 全 5 名	長野 祐太(神大)

## JR 東日本カップ 2013 第 87 回 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

(第 17 節終了時)

順位	2部	東国大	駒大	青学大	関学大	東農大	東学大	法大	神大	平国大	朝鮮大	拓大	東海大	勝数	負数	分点	得点	失点	得失差	勝点	
1	東国大		100	302	401	102	201	400	100	1Δ1	201	301	300(没収)	12	2	3	39	17	22	39	
2	駒大	001		401	200	302	402	200	401	304	102	200	401	12	3	2	40	20	20	38	
3	青学大	203	104		10/26	11/2	11/17	10/27	11/9	106	2Δ2	200	500	9	5	3	29	20	9	30	
4	関学大	104	002	0Δ0		0Δ0	1Δ1	100	401	201	201	201	100	9	6	2	31	23	8	29	
5	東農大	201	203	1Δ1	300		100	11/3	103	203	401	11/10	2Δ2	9	6	2	28	21	7	29	
6	東学大	102	204	001	004	201		001	302	301	200	201	201	7	5	5	23	23	0	26	
7	法大	004	002	104	102	001	100		201	1Δ1	001	102	402	6	8	3	31	32	-1	21	
8	神大	601	4Δ4	305	301	300	1Δ1		11/9	10/26	11/3	11/16	11/23	6	9	2	30	32	-2	20	
9	平国大	001	104	102	200	301	203	102		301	201	205	102	6	9	2	30	32	-2	20	
10	朝鮮大	2Δ2	001	102	302	三ツ沢	古河	保土ヶ谷		11/23	401	2Δ2	11/2	4	8	5	21	35	-14	17	
11	拓大	1Δ1	403	0Δ0	003	301	103	1Δ1	103		100	302	203	5	10	2	16	30	-14	17	
12	東海大	002	1Δ1	004	104	青学大G	2Δ2	川口	法大G		002	11/2	11/16	4	9	4	23	28	-5	16	
		102	201	201	004	1Δ1	002	100	102	001		001	401	5	10	2	16	30	-14	17	
		005	002	たつこ	たつこ	103	0Δ0	朝鮮大G	104	200		11/23	10/27	4	9	4	23	28	-5	16	
		103	002	001	102	002	102	201	502	203	100		301	4	9	4	23	28	-5	16	
		0Δ0	102	駒二	2Δ2	102	1Δ1	古河	2Δ2	ゼットエー	青学大G		11/9	2	14	1	14	44	-30	7	
		003(没収)	104	102	003(没収)	003(没収)	102	204	201	302	104	103		2	14	1	14	44	-30	7	
		004	001	002	102	003	1Δ1	法大G	古河	東海大G	古河	古河									

※ 東海大は後半戦終了時点で勝点-6となります

体育会学生のための  
**リクナビ就職エージェント**  
**自分を超えて、進もう。**  
部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」  
<http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/>  
RECRUIT

# 青山学院大学 vs 拓殖大学

10月26日(土)  
11:30K.O.  
駒二

3位に浮上した青学大と、11位の拓大との対戦。上位2チームと差がついてはいるが、できる限り追いつきたい青学大と、早く降格圏を脱出したい拓大との対戦は、熱戦が期待される。

青学大は前節、法大と点の取り合いの末、5-3で勝利した。立ち上がりの5分に先制すると、27分に追加点。前半終了間際と後半開始早々に失点して一時は同点とされるが、その後2点を奪って突き放した。MF 恵龍太郎(2年)は果敢なドリブルでチャンスメイクするなど2得点1アシストの活躍を見せた。宮崎純一監督は「我々の得点の形の一つである、サイドアタックや相手の背後を突いてのコンビネーションからのゴールがいくつかあったのは大きな成果」と満足げ。一方で、3失点については「ボールの失い方が問題。精度を高めてリスクを減らしたい」(宮崎監督)。得点力のある拓大をどう抑えるか。

その拓大は前節、関学大と2-2で引き分けた。日曜日に前半45分をプレーし、2-1でリードしている段階で中断、雨天延期となった火曜日には90分の再試合となった。そういった意味では、1-2で迎えた後半ロスタイムに同点に追いついたことは、選手たちの意地を

見せた瞬間だった。残りわずかな時間、さらに攻め込みチャンスもつくったが、逆転には至らず。今後5試合はこのようなシーンが増えると予想されるだけに、勝ち切る粘りを発揮したい。「運動量がなかったし、パスのテンポが悪いので目指すサッカーができなかった」(玉井朗監督)。コンディション調整も一つの課題だ。

<出場停止>なし / 3回警告: 京谷季樹・水島雅之・服部真矢(青学大)

<前回の対戦>青学大1-0拓大

青学大	拓大
20. 服部	2. 三浦
16. 恵	36. 郡司
5. 京谷	4. 金子
10. 木澤	20. 片
12. 高橋	14. 菅原
6. 高山	1. 大坪
18. 関谷	11. 内野
7. 荒木	7. 川崎
15. 水島	31. 高橋
14. 伊藤	16. 長沢
3. 早田	28. 小島

# 東京学芸大学 vs 神奈川大学

10月26日(土)  
11:30K.O.  
古河

6位の東学大と、8位の神大との対戦。なかなか順位を上げることができない両チームの対戦は、どちらが持っている技術を結果につなげるか。

東学大は前節、平国大と対戦して2-2で引き分けた。4試合連続引き分けのあとでやっと白星をつかんだが、またも引き分け。後半ロスタイムに追い付く粘りを見せたことだけが収穫だろう。雨中での試合は、17分にセットプレーから先制したが、相手の思い切りのよいミドルシュートで同点、68分にはGKのクリアボールを拾われ逆転。試合終了間際に途中出場のMF 山崎直之(4年)が同点弾を決めた。「スペースができた時に、トップと出し手のスイッチを合わせて崩していこうというのが狙いだったが、後半、追い込まれてからそれができていた」(西園聡史監督)。相手のブロックがあっても決め切るのが課題だが、今節は攻め合いとなるか。

対する神大は前節、駒大と対戦して惜しくも0-1で惜敗した。前後半の立ち上がりの戦い方が課題だったが、この日も試合開始早々の6分に失点を喫した。しかし、その後は徐々にボール支配率を高め、後半は駒大の形をほとんどつくらせなかった。最終的に駒大をシュート4本に抑えただけに、あと一歩、決定力に欠けたとこ

ろが惜しまれる。高峯弘樹監督も「立ち上がりの失点を除けばあとは思い通り。上位のチームに対して良い戦いができていた」と、ある程度の評価を与えた。ただ、課題は「シュートの意識が足りない」(高峯監督)。1年での1部復帰は厳しくなったが、少なくとも上位グループ入りを目指したい。

<出場停止>芦野翔斗(神大) / 3回警告: 杉山祐亮・秋山真太郎・武田将平・向山亮太(神大)

<前回の対戦>東学大3-2神大

東学大	神大
25. 富澤	7. 長野
8. 佐々木	22. 伏木
2. 大里	29. 野路
15. 菅	5. 杉山
9. 岡	28. 武田
12. 須賀	1. 阿部
10. 茶島	16. 前田
3. 成田	10. 伊東
13. 中村	4. 向山
14. 佐藤	8. 須郷
5. 廣木	2. 柿崎

# 平成国際大学 vs 法政大学

10月26日(土)  
11:30K.O.  
川口

9位に浮上した平国大と、7位の法大との対戦。前節徐々に勝点を獲得した平国大に対し、法大は6試合ぶりの敗戦を喫した。残留争いに絡む対戦は、どちらも負けられない。

平国は前節、東学大と2-2で引き分けた。2-1のリードから後半ロスタイムに同点を許したという意味では勝点2を失ったとも言えるが、5試合勝利がなく、その5試合で2得点しかできていなかったチームとすれば、まずは浮上のきっかけをつかんだとも言えるゲームであった。西川誠太監督も「ようやく粘りも出て徐々にいいゲームができた。勝点3が欲しかったが、そう簡単に勝たせてくれないので、もう一歩だと思おう」と好感触のようであった。試合は先制されながら、FW 堀越龍也(3年)が素晴らしいミドルシュートを含む2得点で逆転した。攻守にわたりサポートの意識が強く感じられ、組織力は高まっている。残留争いから抜け出せるか。

一方の法大は前節、青学大に3-5で敗れた。後半戦は首位チームを6-1で破るなど大きな話題を提供したが、上位グループをとらえるまでには至っていない。このあとはすべて降格回避に必死な下位チームとの対戦となるだけに、冷静に戦い、残留争いに巻き込まれないよ

うにしたい。青学大戦は、2点のビハインドから一度は追いつくも、また2点を先行されるという展開。パスミスからカウンターを受けるというシーンも多く、大石和孝監督は「あまりにも簡単に点を取られ過ぎた」と嘆いた。簡単なミスによって自ら不利な展開を招くようなことは避けたい。

<出場停止>田代雅也(法大) / 3回警告: 鎌田秀平(平国大)、森保翔平・星雄次(法大)

<前回の対戦>平国大1-1法大

平国大	法大
16. 増田	13. 木村
19. 堀越	24. 白石
2. 須藤	14. 松本
6. 本田	2. 宗近
21. 荒川	5. 岩淵
10. 堀越	1. 四宮
9. 星子	6. 星
5. 鎌田	15. 高橋
26. 小松崎	4. 樋川
8. 横瀬	16. 松田
13. 竹内	30. 永戸

# 駒澤大学 vs 関東学院大学

10月26日(土)  
13:50K.O.  
古河

2位の駒大と4位の関学大の対戦。関学大は、なんと3人もの出場停止者がおり、その対策が第一。駒大は勝って東国大にプレッシャーをかけたい。

その駒大は前節、神大に1-0で勝利した。しかし、シュート4本に抑えられたという試合内容は、言ってみれば辛勝であった。試合開始早々の6分、今回はトッパ下でのスタメンとなったDF 須貝暁(3年)がFW 小牟田洋佑(3年)から受けて先制点をマーク。しかしその後は決め手に欠き、特に後半は神大にボールポゼッションを許し、駒大らしい形に持ち込むことがほとんどできなかった。試合後、秋田浩一監督も「勝ててよかった。粘り強くディフェンスすることはできた」と言葉少なであった。結果的に無失点に抑えたのはよかったが、相手に自由にボールを持たせてしまったことは大きな課題だ。

一方の関学大は、日曜日の拓大戦が前半終了時1-2の段階で中断となり、火曜日に90分間の再戦を行った。同じスタメンで臨んだ火曜日の試合は2-2の引き分け。両者の意地がぶつかる熱戦は、先制した拓大に関学大がすぐに追いつき、前半終了間際に逆転、最後は後半ロスタイムに拓大が追い付くという点の取り合いとなった。しかし、同点となった終了間際に拓大の猛攻を受

け、DF 2人が退場となり、後味の悪い終わり方となってしまった。石村大監督も「サッカーどうこう以前に人として未熟な部分が出た」とひと言。試合内容がよくなってきていただけに残念だが、上位チームとの対戦に備え、気分を一新して臨めるかどうか。

<出場停止>木村魁人・山口聖矢・萱沼優聖(関学大) / 3回警告: 碓井鉄平・キム デセン・伊藤慎人・田中雄一(駒大)、土館賢人・久保海都(関学大)

<前回の対戦>駒大2-0関学大

駒大	関学大
3. 田中	8. 山本
11. 小牧	13. 吉田
15. 川岸	9. 富樫
7. 碓井	27. 原島
9. 小牟田	7. 太田
19. 須貝	3. 土館
1. 大石	1. 守山
6. 若山	10. 橋村
4. 平尾	4. 久保
17. 平野	24. 普光院
13. 大木	2. 吉田